

# 2019年3月期 第3四半期 投資家向け説明会

ソフトバンク株式会社  
2019年2月5日

## ( 免責事項 )

本資料に含まれる計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

## ( 本資料上記載されている数値の定義について )

本資料上記載されている数値の定義についてはデータシートをご参照ください。

セグメント名称	主な子会社
コンシューマ事業	Wireless City Planning(株) SBモバイルサービス(株) (株)ウィルコム沖縄 LINEモバイル(株) SBパワー(株)
法人事業	Wireless City Planning(株) テレコムエンジニアリング(株) (株)IDCフロンティア
流通事業	SB C&S(株)
その他	SBクラウド(株) SBペイメントサービス(株) (株)One Tap BUY ソフトバンク・テクノロジー(株) アイティメディア(株)

## 主な持分法適用関連会社/共同支配企業

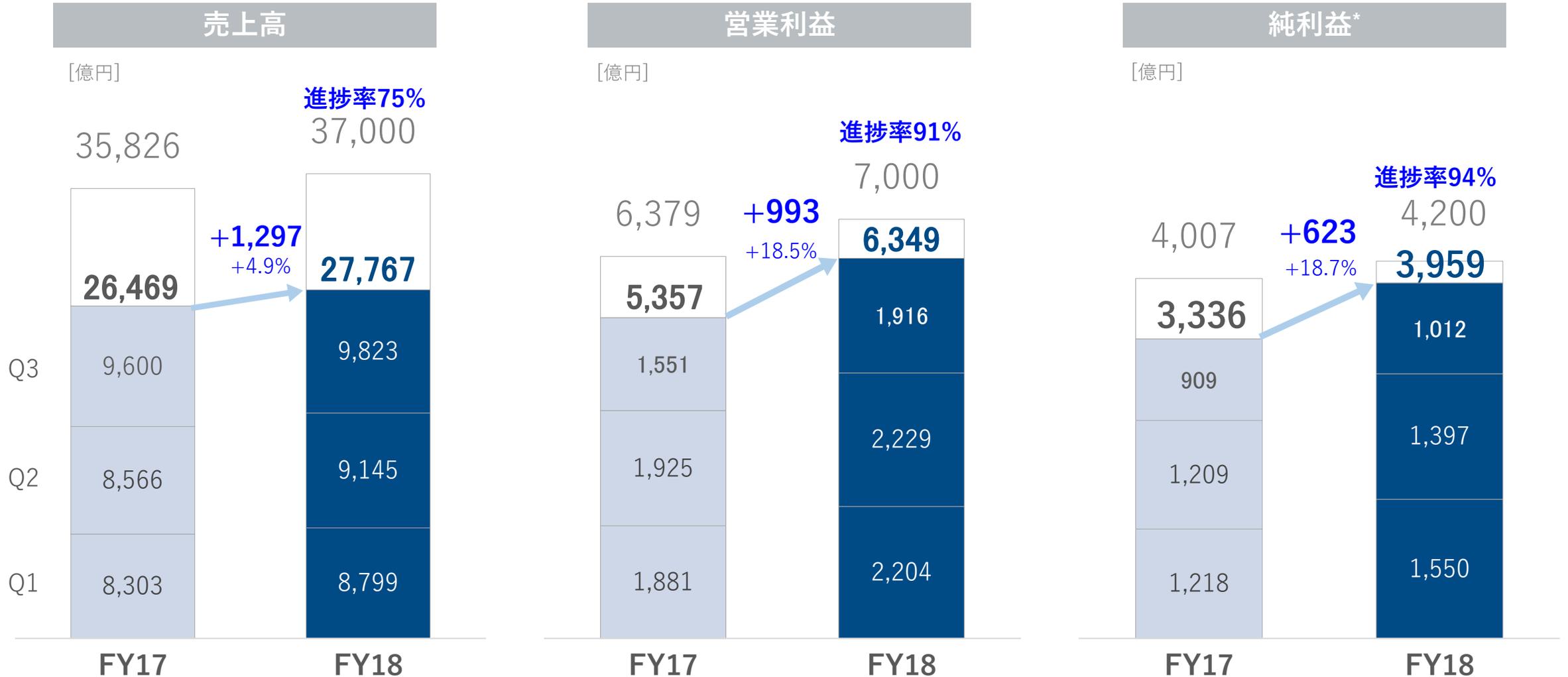
PayPay(株)  
Cybereason Inc.  
Wework Japan合同会社  
(株)Tポイント・ジャパン  
DiDiモビリティジャパン(株)

**関係会社合計\***

**147社**

# 2019年3月期実績（第3四半期）

■ 各指標ともに年間見通しに対して順調に進捗



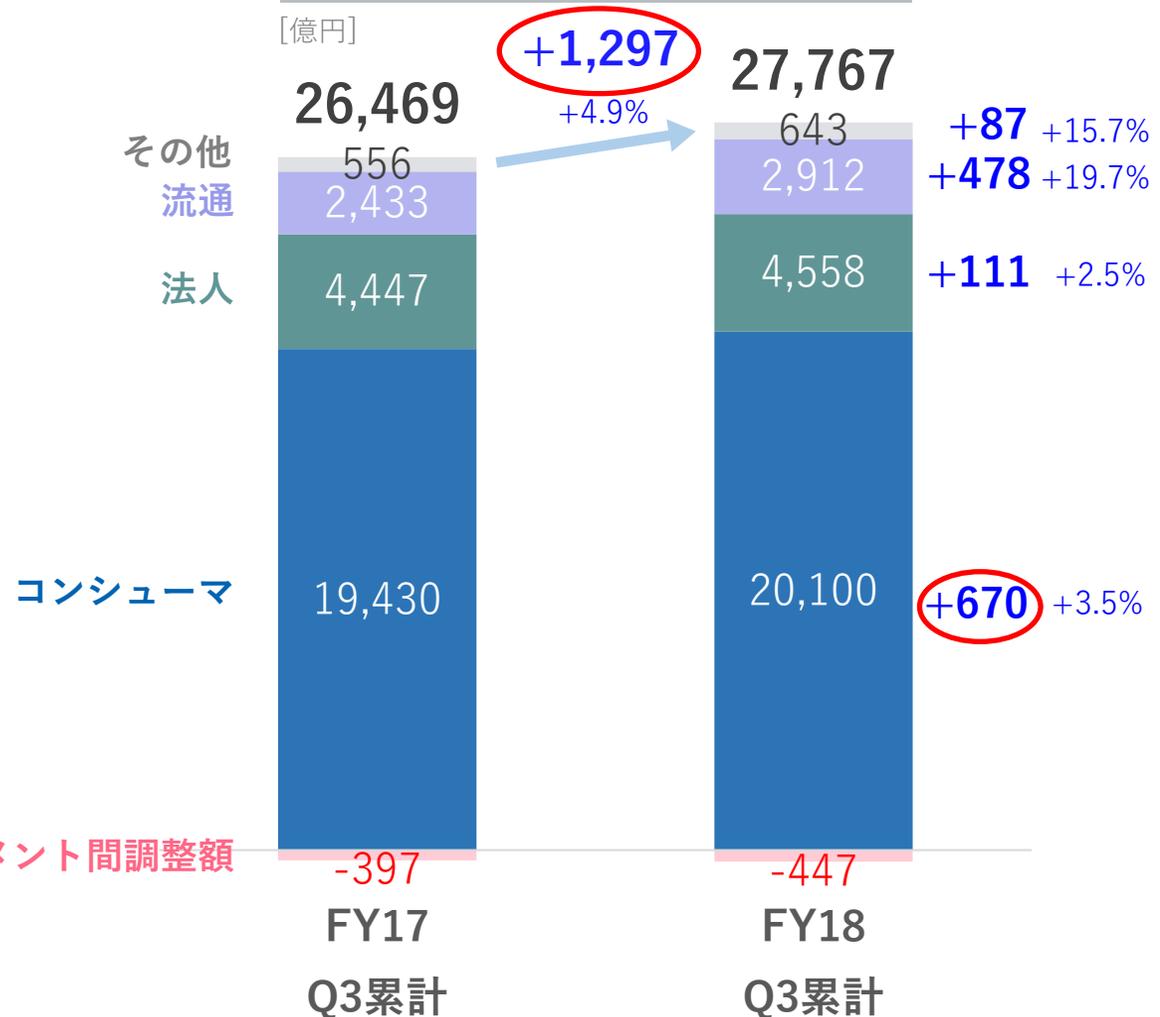
\*純利益：親会社の所有者に帰属する純利益（以下本編内において同様）

# 売上高 (1/2)

- 各セグメントがともに売上を拡大し、前年同期比+1,297億円 (+4.9%増)
- コンシューマ事業は+670億円の増加。ブロードバンド (+346億円)、モバイル (+264億円) が大きく貢献

## セグメント売上高 内訳

[億円]



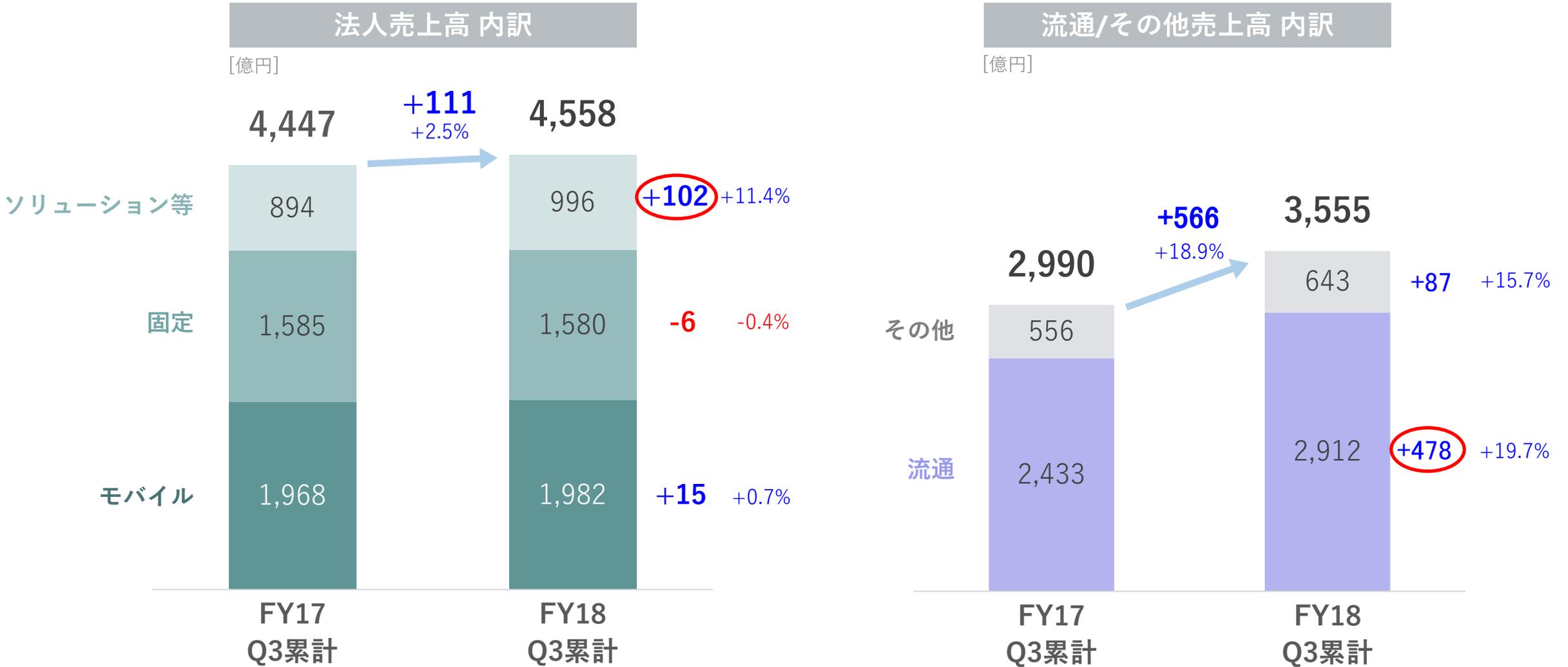
## コンシューマ売上高 内訳

[億円]



# 売上高 (2/2)

- 法人事業はクラウド・ロボットなどの戦略事業を中心にソリューション売上高が前年同期比+102億円 (+11.4%増)
- 流通事業は企業向けICT領域が好調、前年同期比+478億円 (+19.7%増) と大幅増

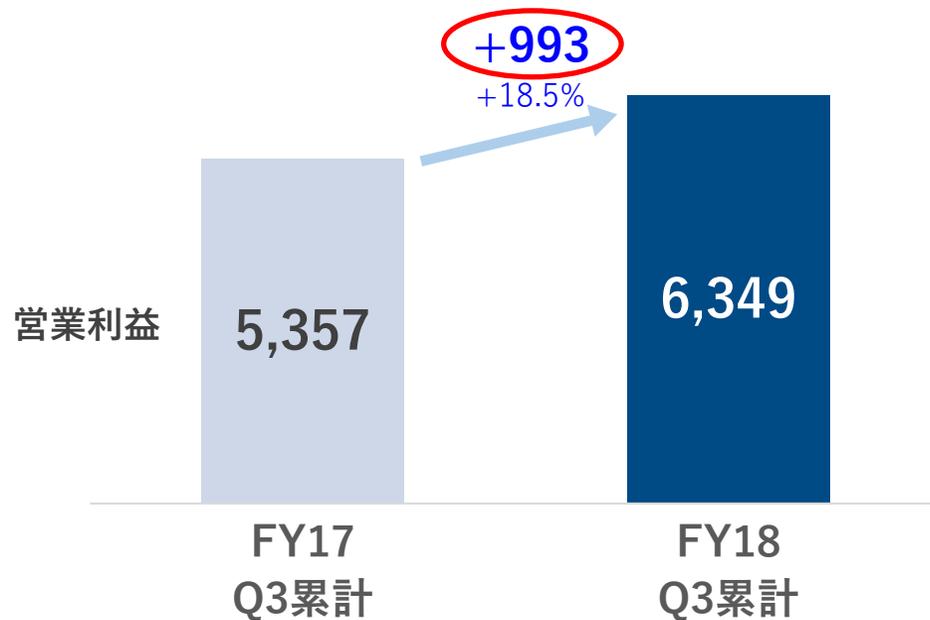


# 営業利益/調整後EBITDA

- 調整後EBITDAは前年同期比+754億円 (+8.3%増)
- 営業利益は全セグメントで増益、前年同期比+993億円 (+18.5%増)。コンシューマが+543億円貢献 (+11.0%増)

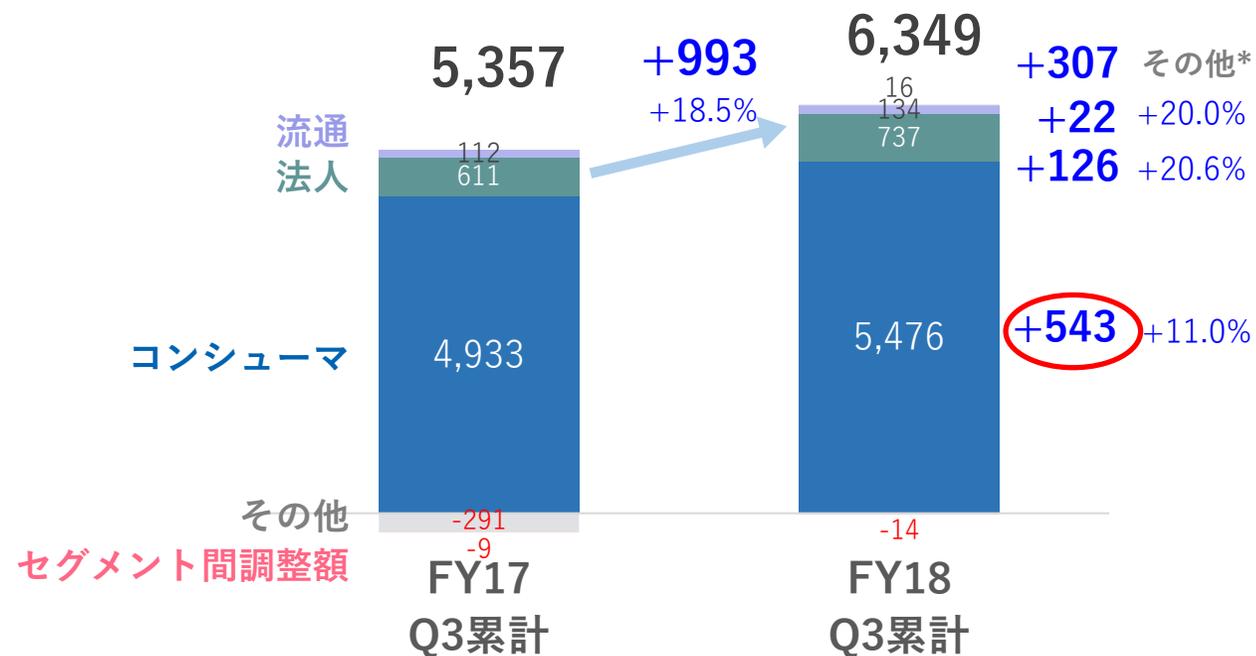
## 営業利益/調整後EBITDA\*

[億円]



## セグメント利益

[億円]



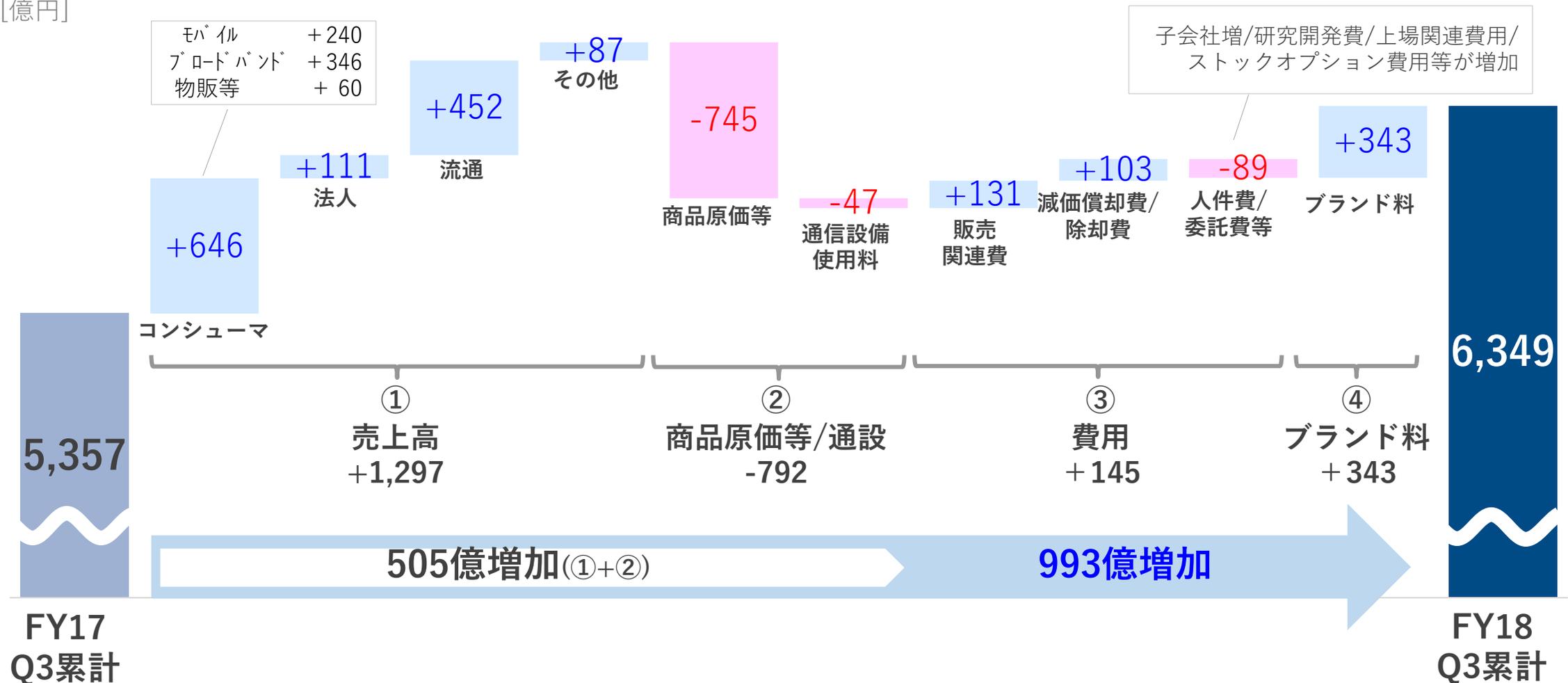
\*調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費(固定資産除却損含む) ± その他の調整項目

\*FY17Q3累計にはブランド料343億円を含む

# 営業利益（前年同期比）

- トップラインは全セグメントが増収。商品原価等、通信設備使用料を控除後、前年同期比+505億円増益（①+②）
- 販売関係を中心にコスト削減が奏功し、費用は145億円改善（③）
- ブランド使用权の買取（2018/3）に伴いブランド料が改善、前年同期比+343億円（④）

[億円]



# 累計契約数（主要回線/スマートフォン）

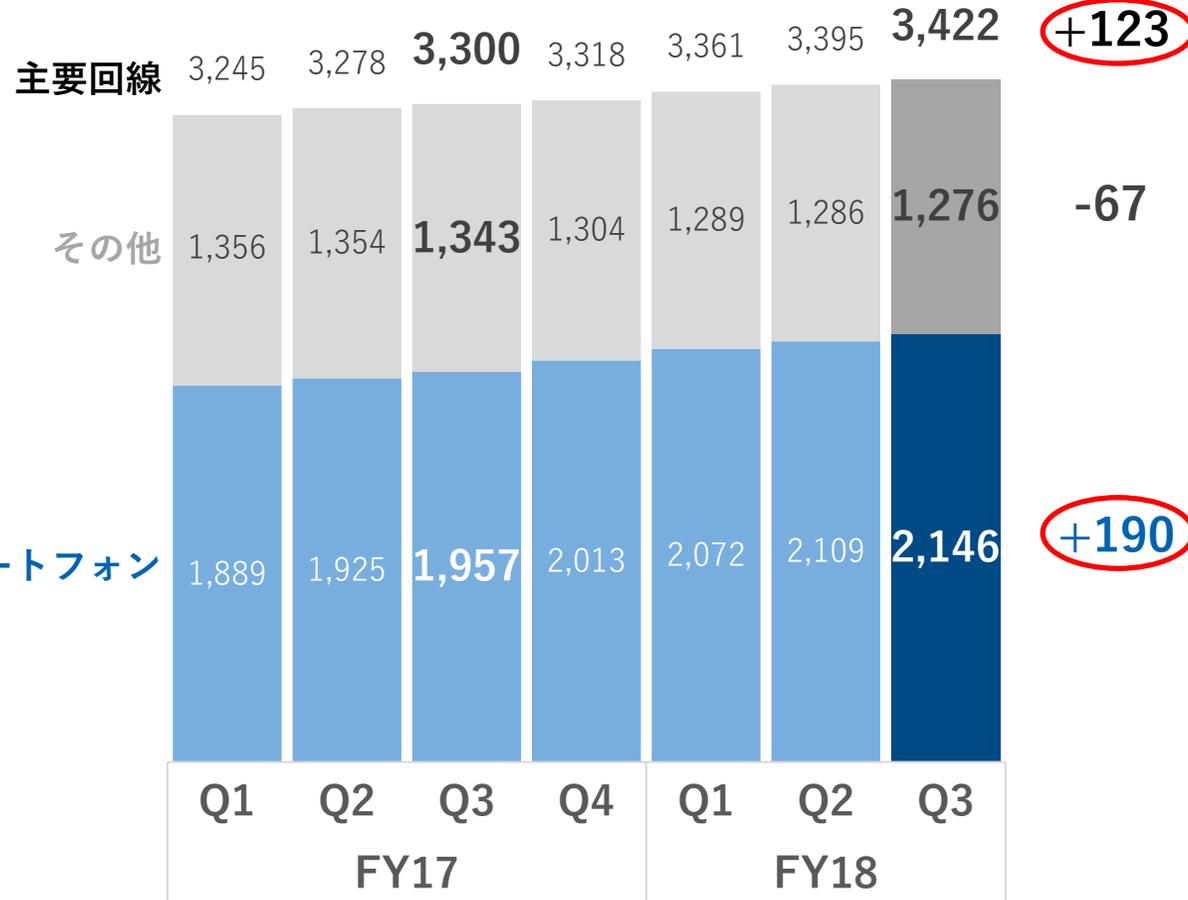
- 主要回線累計は3,422万件（前年同期比+123万件）、スマートフォンが大きく貢献、タブレットは増加、従来型・MBBが減少
- スマートフォン累計数は2,146万件（前年同期比+190万件）、3ブランドともに好調

累計契約数\*

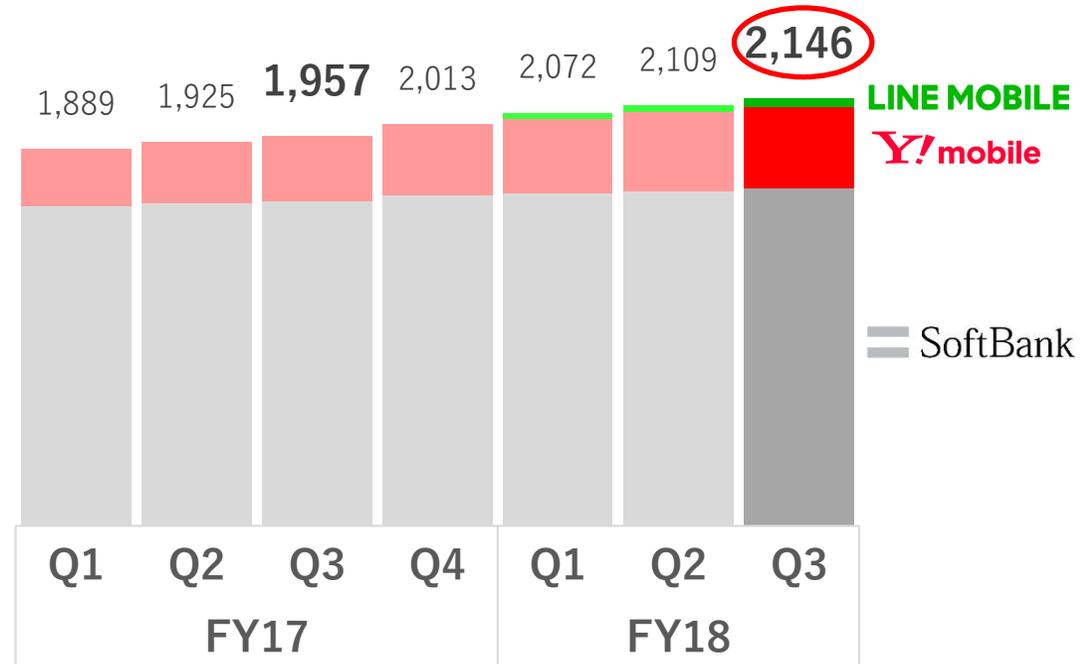
[万件]

前年同期比

[万件]



スマートフォン 累計契約数



\*累計契約数はおうちのでんわを含む（FY17Q3:18.2万件、FY18Q3：42.2万件）

# 解約率（主要回線/スマートフォン）

- 主要回線が大幅に改善、前年同期比0.08%良化
- スマートフォンは各種施策の効果もあり、過去最低水準の0.79%まで低下。前年同期比0.06%改善



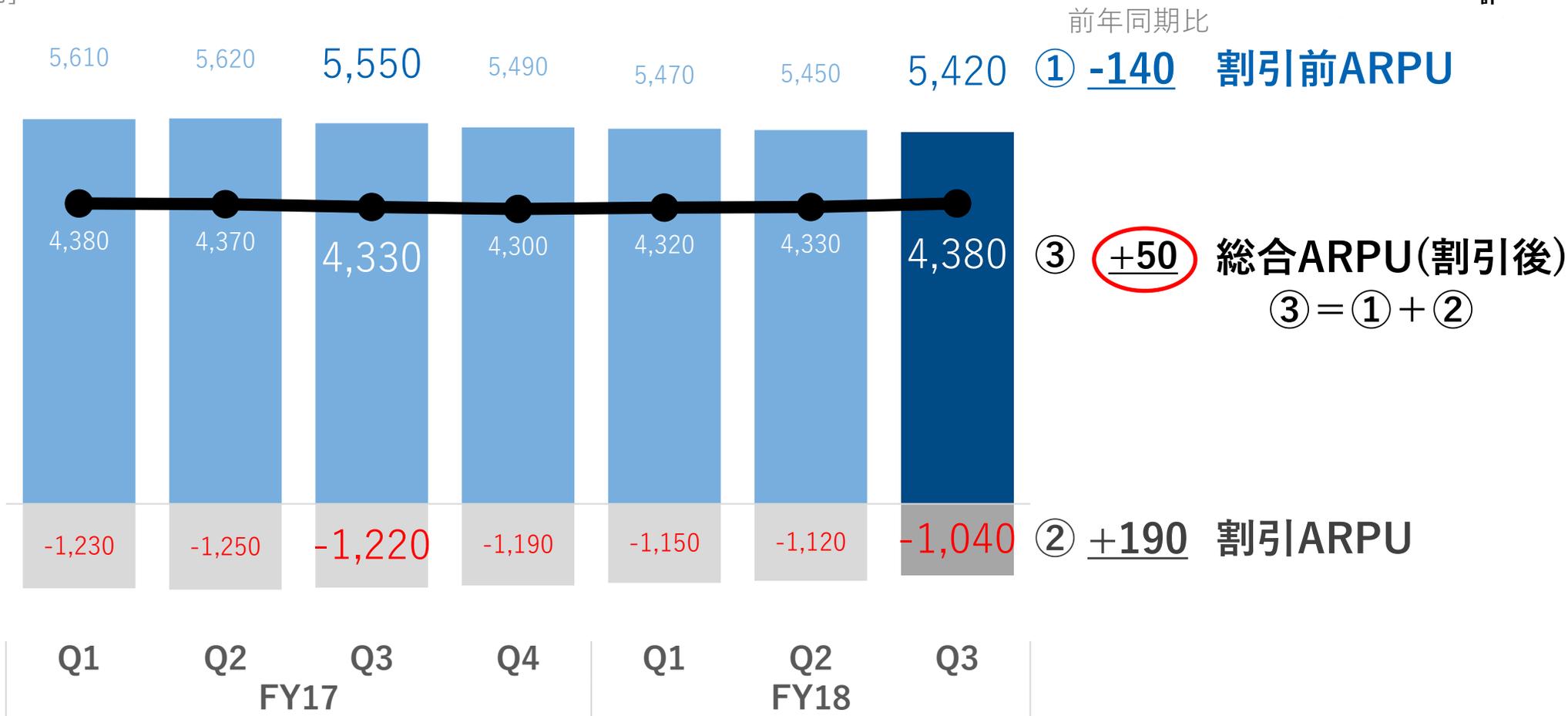
# ARPU (主要回線)

- 総合ARPUは反転。4年割賦導入に伴う月月割減少等により、Q3は前年同期比+50円 (③)
- 割引前ARPUは、Y!mobileやLINE MOBILEの構成比増加等に伴い低下 (②)

■モバイル通信サービス売上

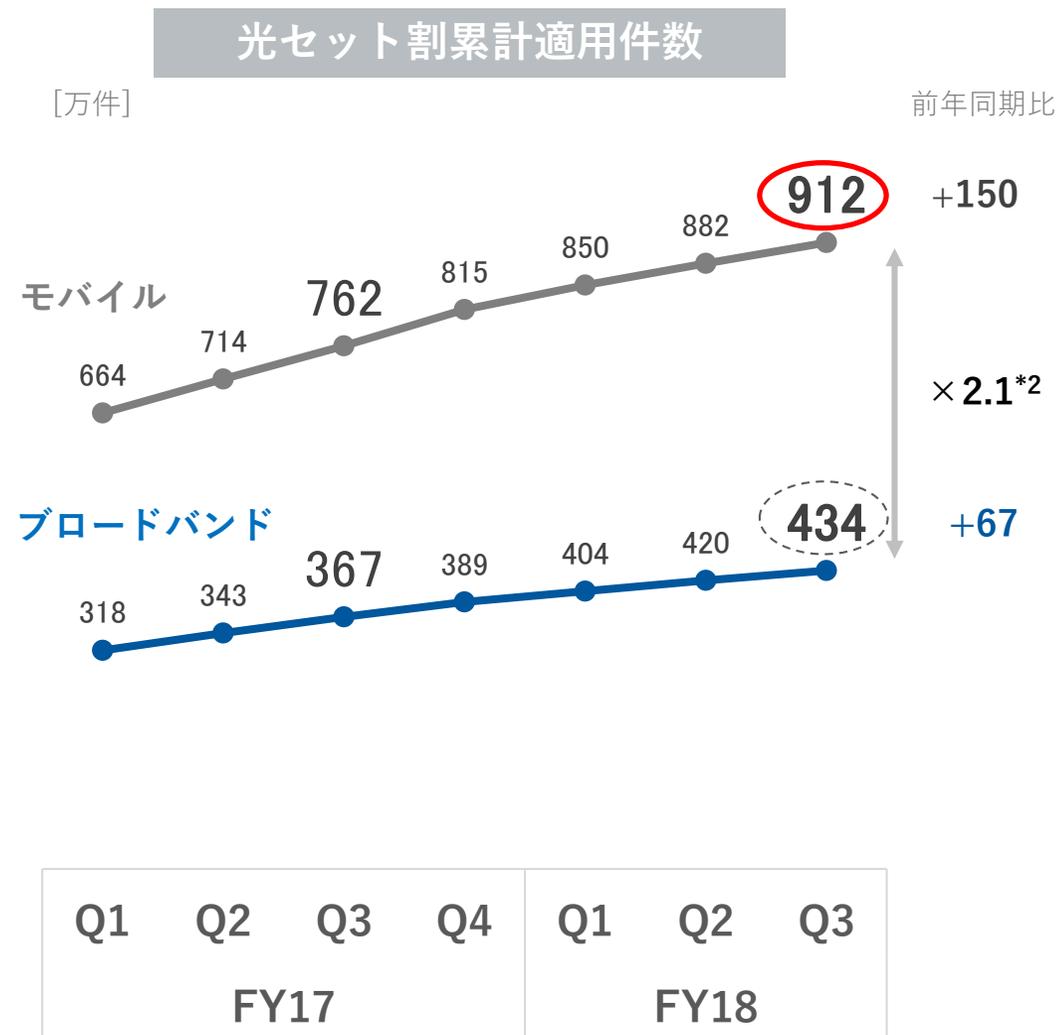
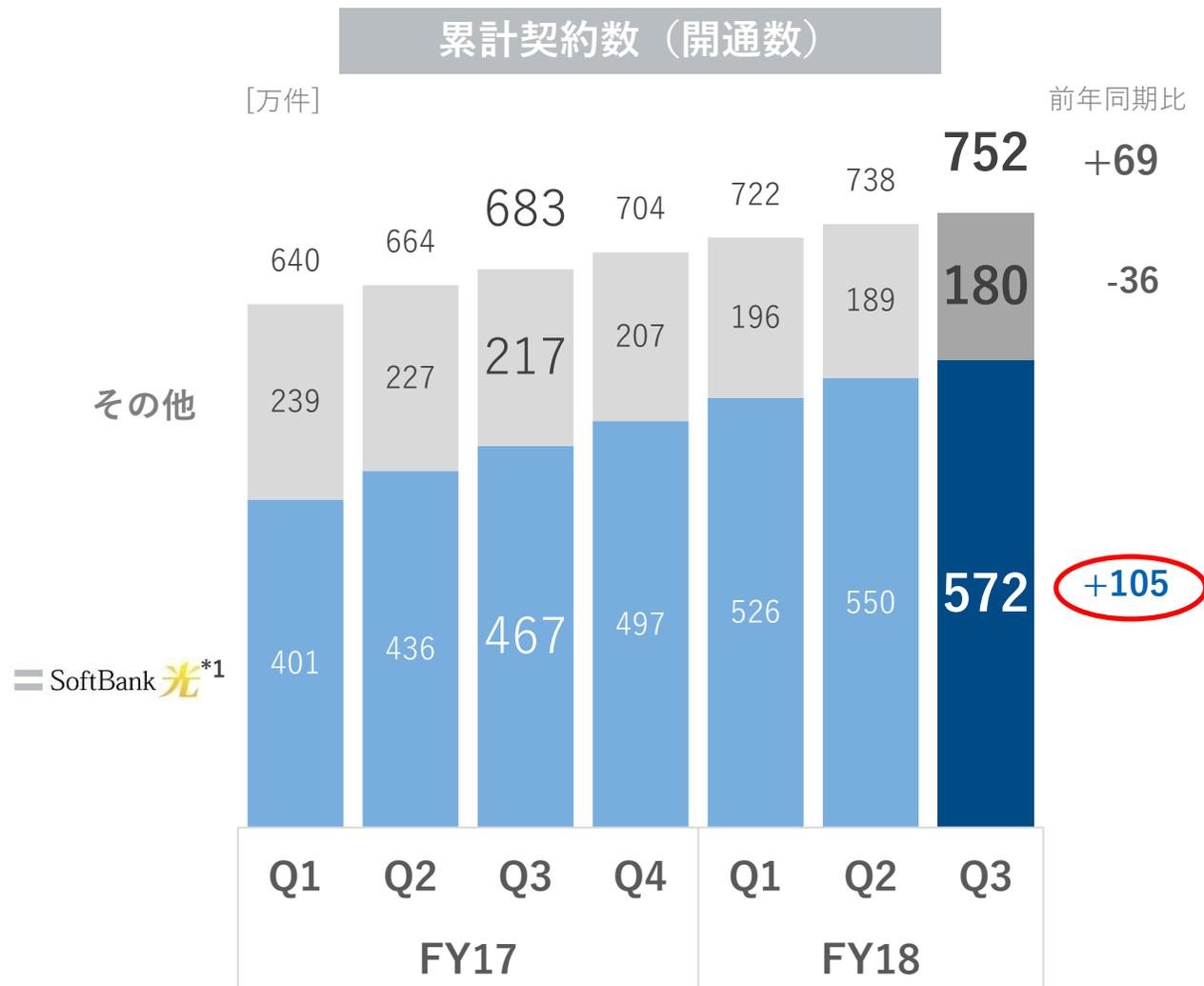
[兆円]	FY17 Q3累計	FY18 Q3累計
コンシューマ	1.19	1.21
法人(物販除く)	0.15	0.16
計	1.34	1.37

[円]



\*ポイント等や「半額サポート」プログラムに係る通信サービス売上控除額は、ARPUに不算入  
IFRS15影響を含む

- SoftBank 光のQ3末契約数（開通）は572万件、前年同期比+105万件と順調に拡大
- 光セット割適用のモバイル件数は912万件まで増加

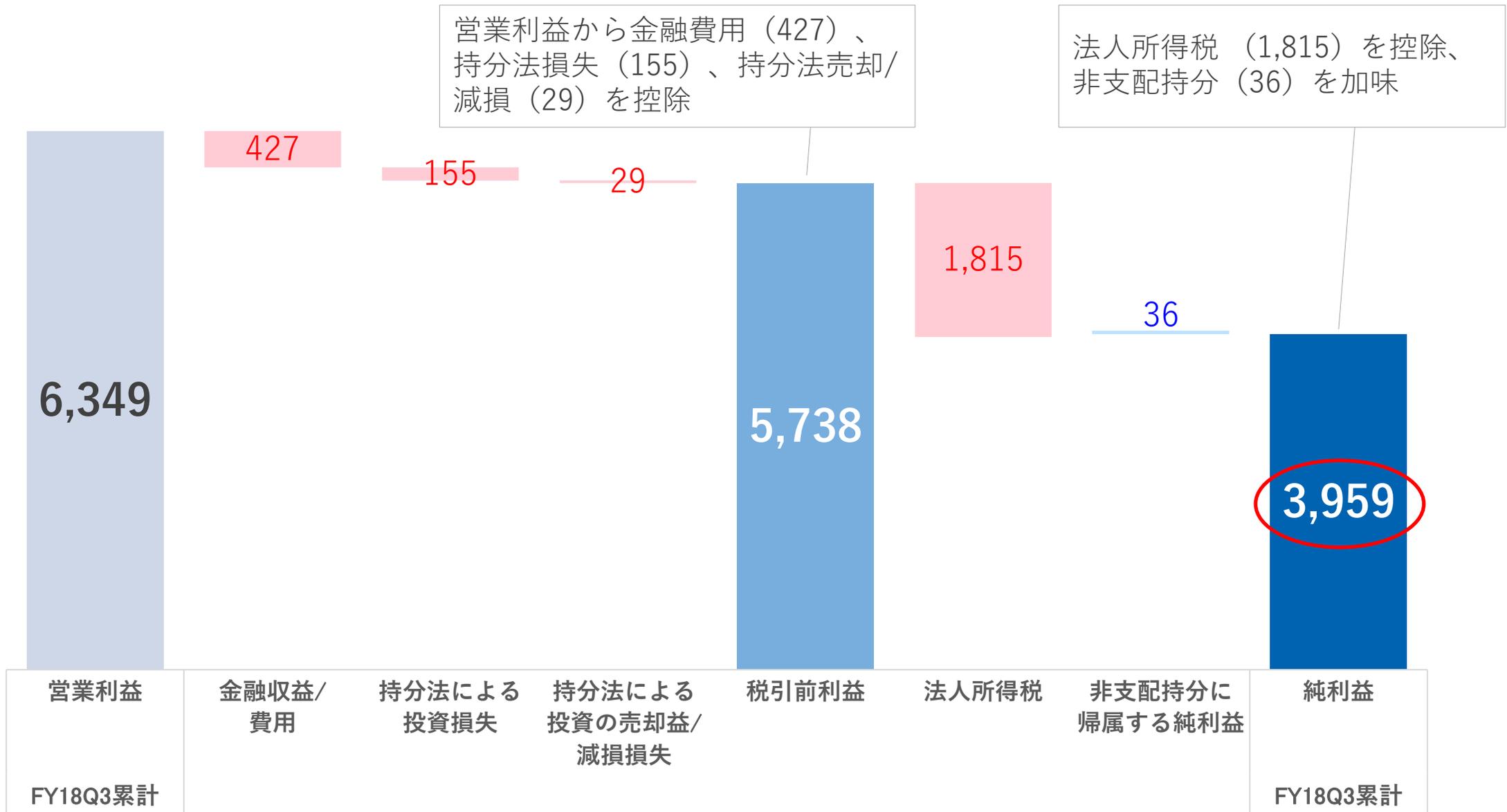


\*1：SoftBank 光にはSoftBank Airを含む

\*2：SoftBank 光1件当たりのセット割適用モバイル件数

# 純利益

[億円]



# 純利益（前年同期比）

- 営業利益の+993億円増加が大きく貢献し、純利益は前年同期比+623億円増加
- 金融費用：借入金残高増加に伴い、支払利息が増加（①）
- 持分法による投資損失：主にPayPayの「100億円あげちゃうキャンペーン」により損失増加（②）

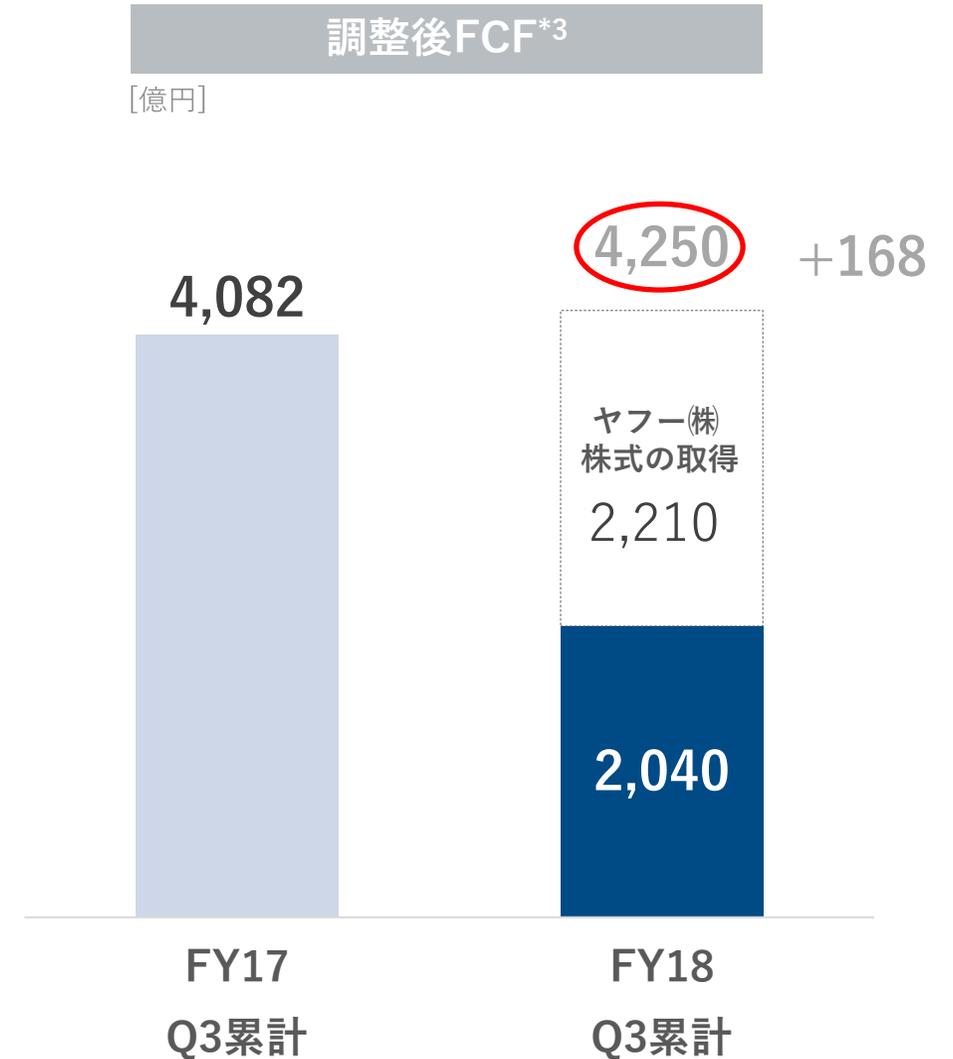


# 設備投資/調整後FCF

- 設備投資は年間見通しに変更なし。LTEサービスエリアの拡大とネットワーク品質向上に注力、FY18Q3累計は2,445億円
- 調整後FCFは年間5,000億円以上に向け順調に推移（ヤフー(株)株式の取得影響除く）



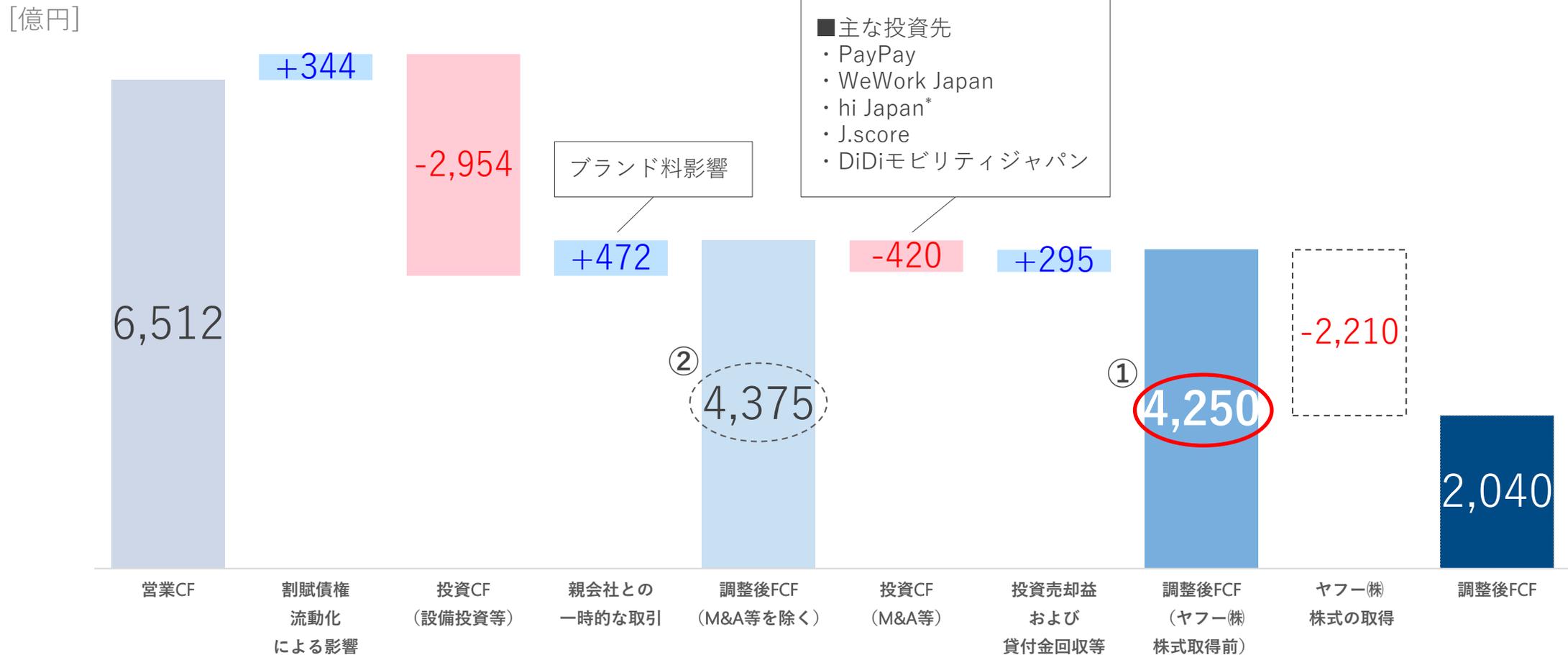
\*1：設備投資額：検収ベース。レンタル端末除く  
\*2：減価償却費：除却費含む。レンタル端末除く



\*3：調整後FCF = FCF + 割賦債権流動化の調達額 - 返済額

# 調整後FCF（第3四半期累計）

- ヤフー(株)株式取得前の調整後FCFは4,250億円、通期業績予想5,000億円以上に向け順調に進捗（①）
- 調整後FCF（M&A等を除く）は4,375億円（②）



\*旧handy Japan Holdings

# 連結BSサマリ(前期末比)

[億円]

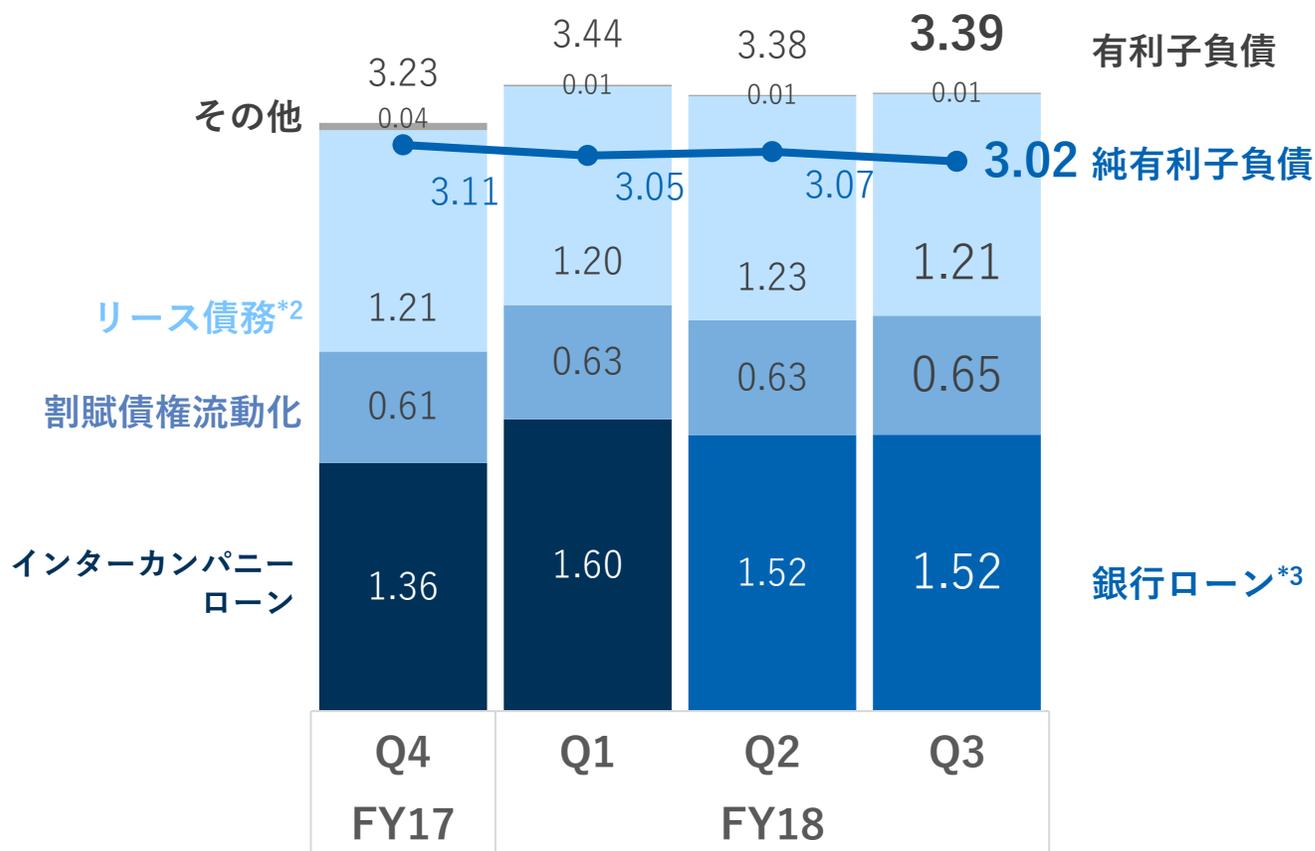
	18年3月末	18年12月末	増減	増減理由
現金及び現金同等物	1,210	3,766	2,556	FCF、有利子負債の増加
営業債権及びその他の債権	11,868	11,870	3	
有形固定資産/無形資産	27,586	26,989	-597	減価償却が新規取得を上回ったため
その他の資産	12,392	14,820	2,429	ヤフー(株)株式増加+1,680 PayPay等新規事業JVへの投資
<b>資産合計</b>	<b>53,056</b>	<b>57,446</b>	<b>4,390</b>	
有利子負債	32,265	33,922	1,656	次ページ参照
その他の負債	11,938	11,261	-676	ブランド料未払金 473 (前期末) → 0 (第3四半期末)
<b>負債合計</b>	<b>44,203</b>	<b>45,183</b>	<b>980</b>	
<b>資本合計</b>	<b>8,853</b>	<b>12,263</b>	<b>3,410</b>	当期利益+3,923 ヤフー(株)株式時価変動-530

# 有利子負債/純有利子負債およびネットレバレッジ・レシオ

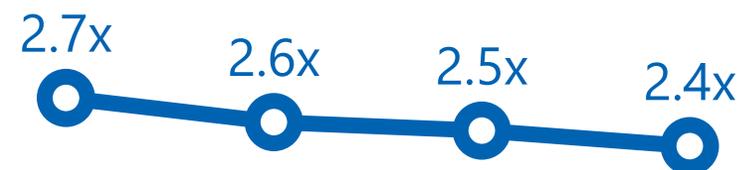
- 純有利子負債は改善傾向。有利子負債は横ばいで推移
- ネットレバレッジ・レシオは適切な水準で推移

## 有利子負債/純有利子負債\*1

[兆円]



## ネットレバレッジ・レシオ\*4



四半期	Q4 FY17	Q1 FY18	Q2 FY18	Q3 FY18
-----	---------	---------	---------	---------

\*1: 純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物

\*2: リース債務は割賦購入による未払い金を含む

\*3: 2018年8月に親会社であるソフトバンクグループ(株)とのインターカンパニーローンを解消し当社が組成した新規シニアローン

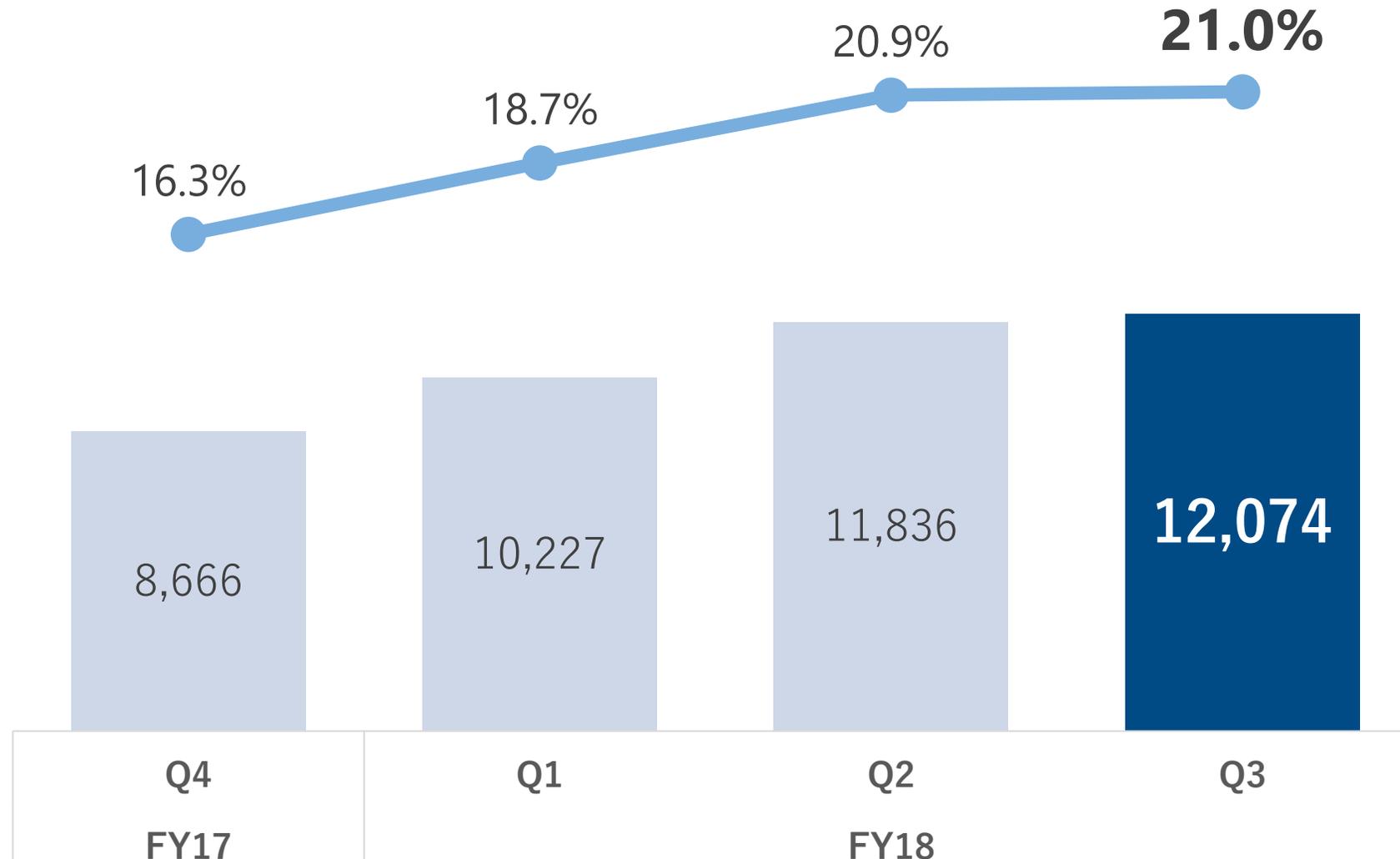
\*4: ネットレバレッジ・レシオ = 純有利子負債 ÷ 調整後EBITDA (該当四半期の直近12ヶ月平均)

# 自己資本比率（親会社所有者帰属持分比率）

SoftBank

■ 自己資本は着実に増加

[億円]



自己資本比率

自己資本

\*自己資本 = 親会社の所有者に帰属する持分

\*自己資本比率 = 自己資本 ÷ 負債及び資本合計

# 財務戦略方針

2019年3月期を基にした  
コンセプト

[億円]

割賦債権流動化  
影響含む

営業CF

設備投資

3,800

■ 主な投資先

- ・ PayPay
- ・ WeWork Japan
- ・ hi Japan
- ・ J.score
- ・ DiDiモビリティジャパン

成長投資  
(M&A等)

500

調整後FCF

5,000  
+  $\alpha$

純利益 4,200  
x  
配当性向85%

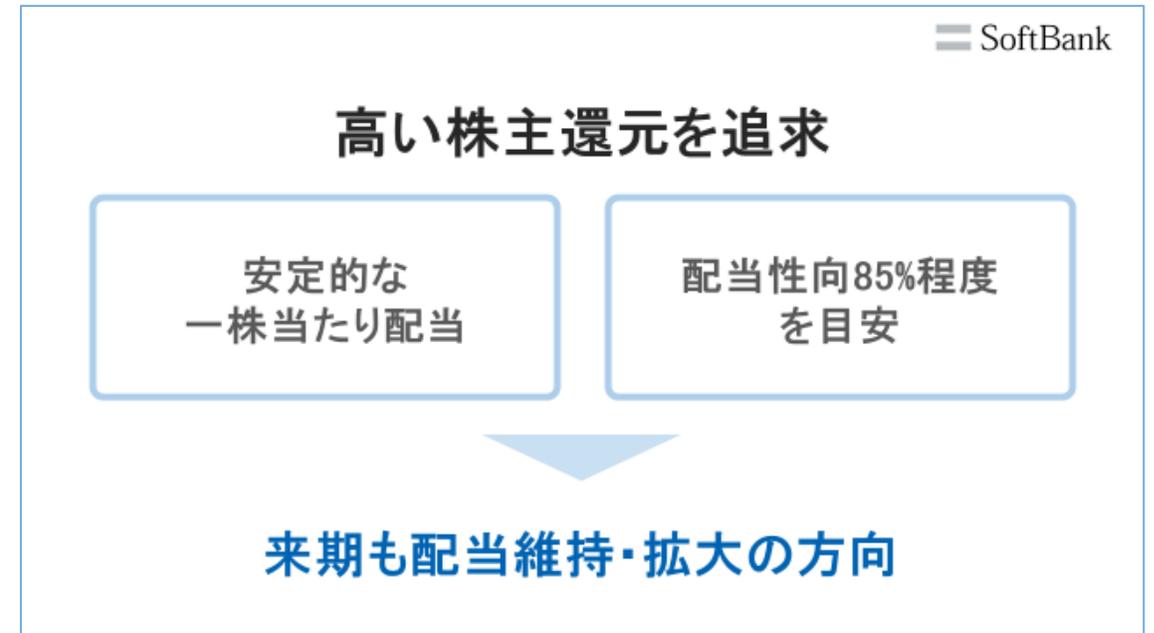
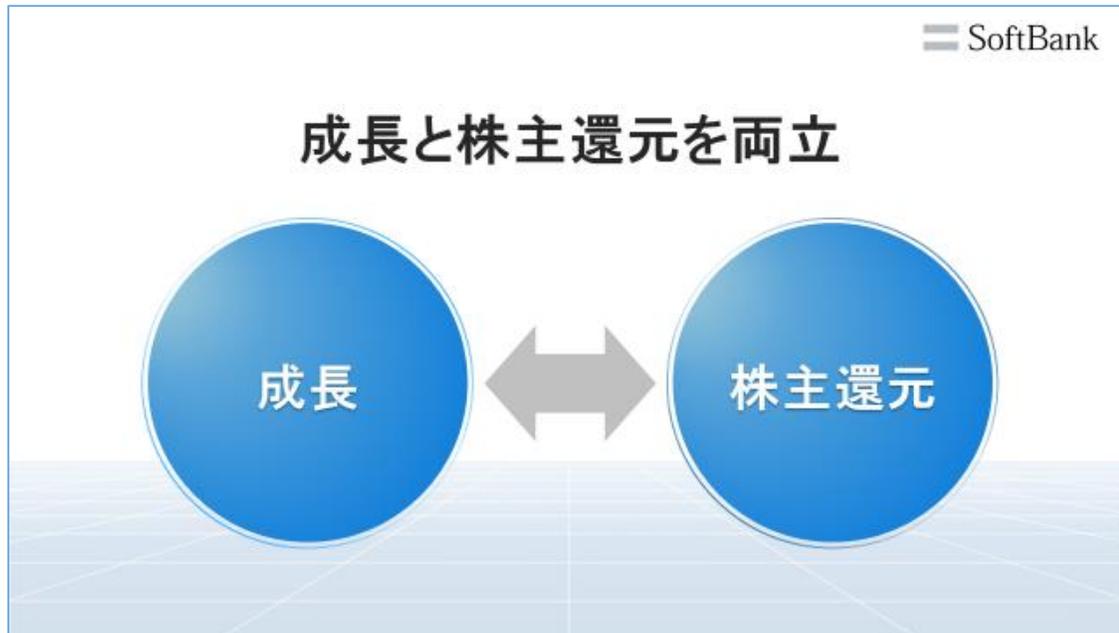
配当

3,570

1,430

## 株主還元後残高

- ・ 更なる成長投資
- ・ クレジット改善



# Appendix

[億円]

	FY17 Q3累計	FY18 Q3累計	増減	主な増減要因
売上高	26,469	27,767	+1,297	
売上原価	-14,514	-15,214	-700	商品原価の増加、減価償却費の減少
売上総利益	11,955	12,553	+597	
販売費及び一般管理費	-6,460	-6,202	+258	販売関連費の減少
その他の営業収益	0	47	+47	
その他の営業費用	-139	-48	+91	FY17におけるスポーツコンテンツ配信サービスに係る棚卸資産評価減 -136
営業利益	5,357	6,349	+993	
持分法による投資損失	-21	-155	-135	PayPay(株)の販促キャンペーン費用
金融収益	14	13	-1	
金融費用	-298	-440	-142	有利子負債の期中平均残高の増加に伴う支払利息の増加
持分法による投資の売却益	-	62	+62	
持分法による投資の減損損失	-	-91	-91	関連会社株式の減損
税引前利益	5,052	5,738	+686	
法人所得税	-1,713	-1,815	-102	
純利益	3,340	3,923	+583	
純利益の帰属				
親会社の所有者	3,336	3,959	+623	
非支配持分	4	-36	-40	

# 連結BS（資産）

[億円]

	18年3月末	18年12月末	増減	主な増減要因
資産合計	53,056	57,446	+4,390	
流動資産合計	15,691	18,141	+2,450	
現金及び現金同等物	1,210	3,766	+2,556	FCF、有利子負債の増加
営業債権及びその他の債権	11,868	11,870	+3	
その他の金融資産	63	18	-45	
棚卸資産	1,256	1,471	+215	
その他の流動資産	1,294	1,015	-279	
非流動資産合計	37,365	39,305	+1,940	
有形固定資産	17,073	16,548	-525	減価償却の影響など
のれん	1,875	1,985	+110	
無形資産	10,513	10,441	-72	
契約コスト	1,743	1,620	-123	
持分法で会計処理されている投資	563	638	+74	
その他の金融資産	4,141	6,895	+2,754	ヤフー(株)株式取得による増加 +1,680億円 (取得価額2,210 - 評価差額530) 4年割賦導入等による長期割賦債権の増加 +1,020
繰延税金資産	585	299	-286	
その他の非流動資産	872	881	+9	

# 連結BS（負債及び資本）

[億円]

	18年3月末	18年12月末	増減	主な増減要因
負債合計	44,203	45,183	+980	
流動負債合計	33,975	19,785	-14,190	
有利子負債	22,604	9,348	-13,257	インターカンパニーローンの返済
営業債務及びその他の債務	8,415	7,794	-622	FY17に係るブランド料の支払いに伴う未払金取崩
契約負債	1,007	1,083	+76	
未払法人所得税	1,009	608	-401	
引当金	164	80	-84	
その他の流動負債	775	873	+98	
非流動負債合計	10,228	25,398	+15,170	
有利子負債	9,661	24,574	+14,913	金融機関からの新規借入
その他の金融負債	31	110	+79	
確定給付負債	120	115	-5	
引当金	345	534	+189	
その他の非流動負債	71	65	-5	
資本合計	8,853	12,263	+3,410	
親会社の所有者に帰属する持分	8,666	12,074	+3,409	
資本金	1,977	2,043	+66	
資本剰余金	2,049	1,994	-55	
利益剰余金	4,582	8,608	+4,026	親会社の所有者に帰属する純利益 +3,958
その他の包括利益累計額	58	-571	-628	資本性金融資産の公正価値の変動（主にヤフー(株) -530）
非支配持分	187	188	+2	

# 連結CF計算書

[億円]

	FY17 Q3累計	FY18 Q3累計	主な増減理由
営業活動によるCF	5,886	6,512	
純利益	3,340	3,923	
減価償却費	3,512	3,372	
ワーキング・キャピタル増減	-848	-834	
利息支払額	-256	-588	上場準備に伴う資金調達等により支払利息や手数料が増加
法人所得税の支払額・還付額	-1,993	-1,867	
その他	2,131	2,506	
投資活動によるCF	-2,453	-5,289	
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出・収入	-2,167	-2,954	
投資の取得による支出・投資の売却または償還による収入	-394	-2,362	ヤフー(株)株式取得 -2,210
その他	108	27	
財務活動によるCF	-3,088	1,332	
有利子負債の収入	16,887	26,501	金融機関からの新規借入の影響
有利子負債の支出	-14,799	-24,931	インターカンパニーローンの返済
配当金の支払額	-3,962	-4	FY17 6月にソフトバンクグループ(株)への配当支払い -3,958
その他	-1,214	-234	FY17にSB C&S取得 -1,067
現金及び現金同等物の期首残高	709	1,210	
現金及び現金同等物の期末残高	1,054	3,766	
調整後FCF	4,082	2,040	

**EOP**